

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出を求め る陳情

討論要旨 川村つよし議員

2008年のリーマンショックで世界各国は、賃金の引上げを含む内需拡大により経済危機を克服してきました。しかし、日本は、派遣切りや不安定雇用の拡大、賃金の抑制で企業の利益の拡大を進め、貧困と格差が拡大しました。

コロナ禍を克服し、日本経済の回復を進めるためには、GDPの6割を占める国民の消費購買力を高める必要があります。そのためには、最低賃金の改善による賃金の底上げが必要です。日本経済の回復を進める処方箋としても、労働者の生活を支えるためにも、中小企業の支援策を抜本的に拡充することとセットで、最低賃金を時給1,500円以上に引き上げることが必要だと考えます。

皆さんの御賛同をお願いし、賛成討論といたします。